ミュージアム & シアターの最新情報［アート・ニュース・トーキョー］

ART NEWS TOKYO

JP/EN
BILINGUAL

Museum and Theatre Information

2019 04-07

公益財団法人 東京都歴史文化財団

LIVING WITH ART

Mizuki Yamoto

Actress

山本美月 女優

凌雲閣（浅草十二階）（模型）

よりグローバルになっていく、これからの東京も楽しみ

Looking forward to an even more international Tokyo

女優として大活躍中の山本美月さん。現在放送中のNHK大河ドラマ「いだてん〜東京オリムピック噺〜」では、当時としてはまだ珍しかった女性記者役を演じ、そのファッションにも注目が集まっています。そんな山本美月さんが東京都江戸東京博物館を訪問。「いだてん」にも登場する凌雲閣の模型を興味深く眺めたり、江戸から昭和の空気感に浸ったりと館内をめぐりながらお話をうかがいました。

Mizuki Yamamoto is an actress who has been very busy in the entertainment world recently. In the current NHK Taiga historical drama *Idaten ~Tokyo Olympic Banashi~*, she plays the role of one of the era's rare female journalists, and has garnered attention for the contemporary fashions worn by her character. Here, Ms. Yamamoto visited the Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum, giving her thoughts as she explores the facility. She looked with great interest at the model of the Ryōunkaku, a tower also known as the "Asakusa Twelve-Stories" (which appears in *Idaten*), and absorbs herself in the atmosphere of the city from the Edo to the Showa era.

Interview: Tomoko Yabe, Photos: Tatsuro Kakishima (Pointer), Stylist: Aya Kurosaki (Linx), Hair & Make: MAKI（Linx）
撮影協力：東京都江戸東京博物館

「いだてん」と同時代の資料に注目！

現在、NHK大河ドラマ「いだてん〜東京オリムピック噺〜」に、明治時代に女性記者の先駆けとなった"本庄"役で出演しています。黎明期のスポーツに興味を持ち、日本初のオリンピック選手を取材するという役どころなのですが、当時「浅草十二階」と呼ばれた凌雲閣に行くシーンもありましたので、ここに来てまず目を引いたのが、凌雲閣の模型でした。セットでも明治時代の浅草の街が再現されているんですが、凌雲閣は中だけの再現でしたし、実物も関東大震災の時に消滅してしまっているので、こうして外観をじっくり見るのは初めて。あの時代に、エレベーターもあったなんてすごいですよね。

本庄は、当時はあまりいなかった女性記者ということもあって、男勝りでちょっと変わっているんですが、ファッションも先取りしていたので、髪型や衣装もすごくおしゃれ。のちにモガ（モダンガール）と呼ばれるタイプの女性で、普段の私とは全然違うので、演じながら別人になれる感覚を楽しんでいます。東京ゾーンの展示には大正時代のモガの衣服もありましたが、帽子がすごく可愛い。よく似た帽子を、衣装合わせのときに試しました。明治や大正の頃のファッションって、今見ても素敵だなと思います。

2020年のオリンピックで、東京がどう変化するのか楽しみ

東京都江戸東京博物館には、以前雑誌の撮影で来たことがあって、入口に大きな日本橋があったのを覚えています。火消しの纏も持った記憶があります。

Materials contemporary to *Idaten*

I'm currently appearing in the NHK Taiga historical drama, *Idaten ~Tokyo Olympic Banashi~* in the role of Honjo, a pioneering female journalist of the Meiji era. In one scene, she visits the Ryōunkaku – a building known at the time as "Asakusa Junikai" (Asakusa Twelve-Stories), so my eye was naturally drawn to the model of that building they have here. It's amazing that it even had elevators in those days.
Honjo would be described in later years as a "modern girl" – quite unlike myself – so it was fun to play a totally different person. There's a Taisho-era hat on display in the Tokyo Zone of the

円タクを再現した自動車（フォードA型4ドアセダン）

助六の舞台（模型）

今回改めてじっくりまわってみて、江戸時代の芝居小屋や明治時代の新聞社の建物も復元されていたり、大名の駕籠や人力車に実際に乗れるのもおもしろいですね。駕籠は、少しの距離ならいいけど、あれに長時間乗ると思うと……クッションをいっぱい入れないとムリかな（笑）。人力車は、思っていたより乗り心地がよかったのが意外でした。今度は実際に動いているのに乗ってみたいです。あと、昭和初期にタクシーとして使われていたというフォードA型もカッコいいですね。以前ドラマで、自動車を開発するカーデザイナーの役を演じさせていただいたことがあって、それ以来、乗り物の歴史って楽しいなと思うようになりました。それから、高度経済成長期から現代までに流行ったものが展示されているコーナーで、私が懐かしいと思ったのは90年代後半のキックボード。初代のファミコンも父がゲーム好きで家にあったなあとか、いろいろ思い出しました。

「東京とオリンピック」をテーマにした展示も興味深かったです。私はインドア派で、積極的にスポーツを観戦するタイプではなかったんですが、「いだてん」をきっかけに興味がわいてきたところです。2020年のオリンピック・パラリンピック開催を機に、東京がどんなふうに変化するのかにも注目しています。車や電車など交通が便利になったり、宿泊施設が増えたり、街も変わっていくと思うから。よりグローバルになっていく、これからの東京も楽しみにしています。

体験展示「人力車（複製）」

衣装協力：ワンピース（¥132,000ミキオサカベ 03-6279-2898）、ピアス（¥18,000フレーク 03-5833-0013）

デジタルやCGの作品より、セル画のアニメーションが好き

私は日本の漫画やアニメが好きです。実写ではできない表現が魅力的だと思っています。だから、漫画家さんの個展を観に行くことも多いです。物心がついた時には漫画もアニメも好きになっていましたけど、きっかけを挙げるとしたら「美少女戦士セーラームーン」かな。幼い頃に出会い、夢中になりました。特に私が好きなのが、セル画の時代のアニメーションです。デジタルやCGで作られる作品も素敵だし、これからどんどん進化していくと思うんですが、人が描いた絵が動くのが、見ていて楽しいんです。作る側は大変だと思いますけどね。自分でも絵を描くのですが、デジタルで描くのは不慣れなので練習しているところです。

美術館や博物館へは、私の場合は海外が多いんですけど、よく行きますよ。MoMAとかボストン美術館、金沢21世紀美術館も行きました。動物が好きなので、最近だと国立新美術館の「ピエール・ボナール展」に母と一緒に行きました。母は美術教師の資格を持っていて、絵が好きなのでたまに誘ってくれるんです。ボナールは、すごく可愛い猫の絵を描いていて、動物好きの私としてはたまらなかったです。江戸の絵画だと、伊藤若冲のシュールな動物の絵とか、ふわふわの犬の絵などが好きですね。昔の人が描く動物ってデフォルメが可愛い。昔の人たちも、今の私たちと同じように、動物を見て「可愛いなあ」と思いながら絵を描いていたんでしょうね。

寛永の町人地（模型）

体験住宅

山本 美月（やまもと みづき）
1991年福岡生まれ。2009年にモデルデビュー後、女優としても幅広く活躍。待機作にカンテレ・フジテレビ系火9ドラマ『パーフェクトワールド』、映画『ザ・ファブル』（6月21日公開予定）など。

カンテレ・フジテレビ系全国ネット
毎週火曜よる9時ドラマ『パーフェクトワールド』
4月16日スタート

museum which is really cute. I tried on a very similar one during a costume fitting session. I think Meiji and Taisho era fashions look wonderful, even now.

Looking forward to seeing how Tokyo will change with the 2020 Olympics

I got a proper look round and found it all really interesting, from the replicas of Edo period playhouses and Meiji era newspaper offices, to the rickshaws and palanquins used by the feudal lords that you can actually sit in. I think the Ford Model A – the kind of car used as a taxi in the early part of the Showa era – is really cool. I previously played a car designer in a TV drama, and since then I've found the history of vehicles a really fun subject. One corner has a display of objects that were popular in each generation, from the post-war "Japanese economic miracle" period to the present day. I felt quite nostalgic seeing an old kick scooter from the late 90s.
The displays under the theme of "Tokyo and the Olympics" were also really interesting. I'm quite an indoor type of person and I don't actively watch sports, but through appearing in *Idaten*, I've begun to develop an interest. I'll be paying close attention to see how Tokyo changes through hosting the 2020 Olympics and Paralympics. I think transportation will become more convenient, accommodation facilities will increase, and the city itself will change. I look forward to seeing the even more international Tokyo of the future.

I prefer cel animation to digital and CG animations

I like Japanese manga and anime and I often go to manga artists' exhibitions. I've loved manga and anime for as long as I can remember, but one that stands out in particular as shaping that love would probably be *Sailor Moon*. I particularly like the cel era of animation. I think digital and CG animation is also great, but I really enjoy watching moving images that have been hand-drawn. I also draw, but I'm not used to drawing digitally so I'm practising at the moment.
I go to galleries and museums quite a lot, and I recently went to the Pierre Bonnard exhibition at the National Art Center, Tokyo with my mother. Bonnard painted some really cute cats, and as an animal lover I couldn't get enough of them. When it comes to Edo period painting, I like Ito Jakuchu's pictures of surreal animals and fluffy dogs. I think people back then, like us now, were overcome with how cute animals are as they drew them.

教えて！ ミュージアム＆シアターの“中の人”

山本美月 × 杉山哲司（東京都江戸東京博物館学芸員）

楽宮下向絵巻（部分）　青木正忠／画　文化元年（1804）　東京都江戸東京博物館所蔵

将軍や姫君が、街道をどのように旅していたのかを紐解く展覧会

杉山　特別展「江戸の街道をゆく～将軍と姫君の旅路～」の担当学芸員の杉山です。この特別展では、江戸時代の街道をテーマに、そこを将軍や姫君たちがどのように旅をしたのかを、すべて江戸東京博物館のコレクションで紹介いたします。

山本　将軍や姫君は、何のために旅をしていたんですか？

杉山　将軍は、天皇に会うために江戸から京都へ向かったり、日光東照宮へ参詣するために旅をしました。公家や宮家の姫君は、将軍家に嫁入りするために、京都から江戸へ向かいました。今なら新幹線だと2、3時間くらいですぐ行けますが、当時は20～25日くらいかけて旅したといわれています。一方で、大名の行列は数千人規模といわれていますが、すべて大名の家臣だったわけではなく、臨時の人足を雇って行列を整えていたのです。長い行列で、沿道の人々を圧倒したことが想像できますね。

山本　華麗な姫君の行列が気になります。

杉山　今回の見どころの資料は、十二代将軍徳川家慶に嫁いだ楽宮の行列を描いた絵巻です。全長約24メートルある絵巻をすべて展示します。迎え入れる宿場の様子なども緻密に描かれていて、華やかな婚礼行列の様子がよくわかると思います。

山本　ずっと駕籠に乗っていたら、酔いそうですね。

杉山　酔ったと思います。姫君の場合、中山道を通っていくのですが、山道なので大変揺れます。今回、薩摩藩島津家の女乗物も展示しますが、総重量は約60キロ。人を載せて100キロくらいになる駕籠を、4人で担いで運んでいたんですよ。

山本　姫君は、嫌な人とでも結婚しないといけないんですか？

杉山　そうですね、幕府と朝廷で相談して決めます。和宮はもともと宮家の有栖川宮熾仁親王と婚約していたのを破棄されて、泣く泣く十四代将軍徳川家茂に嫁いだのですが、最終的には仲睦まじかったらしいですよ。

山本　当時の姫君も幸せかどうかって言われたら、わからないですね…。行列で旅をすることはいつなくなったんですか？

杉山　江戸時代が終わり明治になると、鉄道の開通などにより、行列の旅は次第になくなります。しかし、江戸時代をだんだん懐かしむようになり、大名行列の絵を描いたり、各地でお祭りが行われるようになるんですね。最後に、本展覧会で注目していただきたいのがチラシなどでキービジュアルにしている「朱傘」です。江戸時代は将軍や姫君など一部の高貴な人を絵画や文学などで直接的に表現することができなかったため、絵の中でその存在を示す目印として朱傘が描かれているんですよ。

山本　事前に勉強していたら面白いですね。朱傘がどこに描かれているのか探してみたいです！

特別展「江戸の街道をゆく～将軍と姫君の旅路～」
4月27日（土）～6月16日（日）
▶詳細はP.08

山本さん、こんなArt & Cultureはどうでしょう？

Tokyo’s upcoming art and culture program staff’s recommend.

●約3年ぶりにリニューアル・オープン！ 3フロアで日本の近現代美術の作品群を総覧します。【東京都現代美術館】

企画展「百年の編み手たち―流動する日本の近現代美術―」

Weavers of Worlds – A Century of Flux in Japanese Modern / Contemporary Art –【Museum of Contemporary Art Tokyo】

詳細はP.10

東京都現代美術館
学芸員：関直子

岸田劉生が活躍した大正時代から現在までの、実験精神あふれる作品を紹介します。それぞれの時代の「編み手」として、課題と向き合い、日本の美術のありようをめぐって批評的に制作してきた作家たちの活動に着目し、その背景を探ります。
We will introduce works filled with experimental spirit, from the Taisho era, when Ryusei Kishida was active, to the present day. As “weavers of worlds” in their respective time periods, these artists looked on the state of art in Japan with a critical eye, confronting their subject matter as they created their work. We draw attention to both the work and the background to its creation.

現代美術は、素直に「面白い！」と思えるところが好きです。コンセプトや発想がユニークな作品に出会うと、嬉しくなりますね。実験精神あふれる作品がたくさん展示されるとのことなので、「こんなのがあるんだ」っていう発見を楽しみたいです。
What I love about modern art is that you can find it interesting in a very straightforward way. It makes me happy when I encounter an artwork with a unique concept or idea behind it. This exhibition is all about experimental art, so I’m looking forward to discovering things that will surprise me.

●国際的なオペラプロジェクトが始動。未完の大作『トゥーランドット』を上演します。【東京文化会館】

オペラ夏の祭典2019-20 Japan↔Tokyo↔World『トゥーランドット』

Summer Festival Opera 2019-20 Japan↔Tokyo↔World “Turandot”【Tokyo Bunka Kaikan】

詳細はP.16

東京文化会館
事業企画課：島彩乃

『トゥーランドット』は聴きなじみのある曲も多く、初めての方にも分かりやすいストーリーです。スペクタクルなパフォーマンスで有名なスペインの現代演劇集団「ラ・フーラ・デルス・バウス」の芸術監督アレックス・オリエが演出します。イタリア語で上演されますが字幕があるので、言葉がわからなくても安心を。
Turandot features a lot of music that will be familiar to people, and for those who haven’t seen it before, it has an easy to follow story. Director Alex Olle from La Fura dels Baus, famous for his spectacular productions, makes his Japan debut. The performance will be in Italian with Japanese subtitles.

オペラは観たことがなくて未知の世界ですが、壮大な物語を歌で表現すると聞いて興味が湧きました。初めてでもストーリーがわかるのか不安でしたが、字幕が付くなら安心ですね。舞台美術や衣裳も気になります。
I’ve never seen opera so it’s an unknown world to me, but my interest is piqued by the thought of such a magnificent story being expressed through song. It would be my first time and I was worried I wouldn’t understand it, so I’m relieved to hear there will be subtitles. I’m also interested to see the stage design and costumes.

●大河ドラマに関連した貴重な資料の展示も！【東京都江戸東京博物館】

特別展「江戸のスポーツと東京オリンピック」

The History of Sport in Japan –From the Edo Period to the Tokyo Olympics【Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum】

詳細はP.08

東京都江戸東京博物館
学芸員：沓沢博行

江戸時代の競技・娯楽から、明治以降の近代スポーツの普及、そしてオリンピックへの参加・開催に至るまでと、スポーツの歴史を幅広くご紹介する展覧会です。大河ドラマで話題の人物も登場します。展示をご覧になれば、来る2020年の東京オリンピック・パラリンピックをより深く楽しめますよ！
This exhibition takes a broad perspective on sports history, looking at Edo period sports and recreation, the popularization of modern sports from the Meiji era onwards, and Japan’s participation in and organization of the Olympic Games. Some of the figures examined appear in the current NHK Taiga TV drama. By visiting this exhibition you can develop a greater appreciation for the Olympics and Paralympics in 2020!

勝川春英／画《小野川 谷風 引分の図》（部分）1791年（寛政3）頃
東京都江戸東京博物館所蔵

私も「いだてん」に出演するまで、昔はマラソンを足袋で走ってたなんて知らなくて、「スニーカーってすごい」というふうにスポーツの見方が変わりました。歴史を知ってから見ると、オリンピックがもっと面白くなりそうですね
Before I appeared in *Idaten*, I never knew that marathon runners used to run in tabi socks, which gave me new appreciation for sneakers, and helped change my perspective on sports. I think the Olympics will be even more interesting if you know some of the history.

東京都江戸東京博物館

Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum

特別展「江戸の街道をゆく〜将軍と姫君の旅路〜」

4月27日(土)〜6月16日(日)

Traveling on the Edo Highways: A Journey of Shogun and Princesses

Apr. 27 Sat. – Jun. 16 Sun.

笹宮下向絵巻(部分)　青木正忠／画　文化元年(1804)　東京都江戸東京博物館所蔵

料金:一般1,000(800)円、大学生・専門学校生800(640)円、高校生・中学生・小学生・65歳以上500(400)円。( )内は20名以上の団体料金。障害者手帳等をお持ちの方は無料(詳細はP.28)
休館日:5月7日(火)・27日(月)、6月3日(月)・10日(月)

Admission: Adults: ¥1,000 / College and Vocational students: ¥800 / High school, Junior high school, and Elementary school students, Seniors (65 and over): ¥500
Closed: May 7 Tue., 27 Mon., Jun. 3 Mon., 10 Mon.

Check! 婚礼の行列や将軍上洛を描いた絵画に登場する「朱傘」にご注目ください!(詳細はP.06)

江戸時代、幕府によって整備された街道には、様々な人や行列が往来しました。なかでも将軍や姫君たちの行列は長大で、沿道の人々を圧倒し、幕府の権威を誇示しました。本展では、将軍の上洛と日光社参、姫君の江戸下向に関わる資料を通して、「江戸の街道」における旅路をたどります。

The highways of Japan were improved by the shogunate government during the Edo period and used by people from all walks of life. They were also the stage for the processions of Japan's ruling class. The processions of the shoguns and their princesses were particularly long and grand, and as a show of power, left a lasting impression on all who lived along the route. This exhibition will travel along the highways of Edo through materials related to the shogun's official visits to Kyoto, pilgrimages to Nikko, and the princesses' travels from the capital.

特別展「江戸のスポーツと東京オリンピック」

7月6日(土)〜8月25日(日)

The History of Sport in Japan — From the Edo Period to the Tokyo Olympics

Jul.6 Sat. – Aug. 25 Sun.

三島弥彦のユニフォーム 1912年(明治45)
秩父宮記念スポーツ博物館所蔵

娯楽として行う身近なものから、世界的な記録や勝敗の競い合いまで、様々なかたちで私たちが熱中する「スポーツ」。本展では、江戸時代の「スポーツ」的な運動・競技から、明治以降の近代スポーツの受容と流行、そしてオリンピックの参加、東京での開催に至る歴史を、競技者の使用品をはじめとした多彩な資料とともにたどります。

From casual pastimes to competitions and world records, "sport" in its various forms ignites the passions of people the world over. Through a wide range of exhibits which includes objects used by athletes, this exhibition looks at the history of sports, from the sport-like exercises and games of the Edo period, to the acceptance and popularization of modern sports from the Meiji era onwards, and Japan's participation in the Olympics and later hosting of the games in Tokyo.

料金:一般1,000(800)円、大学生・専門学校生・高校生・中学生[都外]・65歳以上500(400)円、中学生[都内]・小学生以下無料。( )内は20名以上の団体料金。障害者手帳等をお持ちの方は無料(詳細はP.28)
休館日:月曜日(7月15日、8月12日は開館)、7月16日(火)

Admission: Adults: ¥1,000 / College and Vocational students, High school students, Junior high school students, Seniors (65 and over): ¥500 / Junior high school students living in or commuting to Tokyo, Elementary school students and younger: Free
Closed: Mon. (Except Jul. 15, Aug. 12), Jul. 16 Tue.

Check! NHK大河ドラマ『いだてん』で話題の金栗四三や三島弥彦ら、黎明期のオリンピック選手に関する展示にご注目ください!

03-3626-9974

URL ▶ http://www.edo-tokyo-museum.or.jp

P.29 → Map 02

9:30–17:30(土曜日–19:30)

江戸東京たてもの園

Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum

武蔵野の歴史と民俗 —「武蔵野郷土館」がのこしたモノたち

2月5日(火)〜6月23日(日)

History and Folklore of Musashino: From the Collection of the Former Musashino Folk Museum

Feb. 5 Tue. – Jun. 23 Sun.

江戸東京たてもの園の前身にあたる武蔵野郷土館が収集した貴重な資料のなかから、縄文時代の「丸木舟」をはじめとした考古資料、生業や生活、信仰、娯楽に関する民俗資料のほか、カエルグッズの蒐集家として知られる小澤一蛙(1876〜1960)の関係資料などを紹介します。

From among the precious items collected by the Musashino Folk Museum, the precursor to the current Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum, this event will showcase antiquities including a Jomon period dugout canoe, objects pertaining to work, life, faith and recreation, as well as materials related to Ichia Ozawa (1876-1960), a noted collector of frog-related items.

こどもの日イベント

5月4日(土・祝)・5日(日・祝)

Children's Day event

May 4 Sat., 5 Sun.

毎年恒例の「こどもの日イベント」。鯉のぼりがそよぐ園内では、下町商店街でのおつかいゲームや紙の兜づくりなど、家族で楽しめる催しが盛りだくさんです。

The annual event for Children's Day (Kodomo no Hi). While the koinobori flags are flying in the grounds, children can participate in many fun family events including a scavenger hunt in the Shitamachi Shotengai.

七夕のつどい

7月6日(土)・7日(日)

Summer Gathering

Jul. 6 Sat., 7 Sun.

願い事を書き入れた短冊を笹に飾る七夕飾りの展示をはじめ、七夕行事にちなんだ催しを開催します。

A number of activities related to the celebration of Tanabata, including the writing of wishes on paper to hang on bamboo plants.

「小出邸と堀口捨己」展(仮)

7月23日(火)〜2020年1月19日(日)

Exhibition "House of Koide and Sutemi Horiguchi" (tentative)

Jul. 23 Tue. – Jan. 19 Sun., 2020

入園料:一般400(320)円、大学生320(250)円、高校生・中学生[都外]・65歳以上200(160)円、中学生[都内]・小学生以下無料。( )内は20名以上の団体料金。障害者手帳等をお持ちの方は無料(詳細はP.28)。
休園日:月曜日(祝休日の場合は翌平日。ただし、4月1日・8日・30日は開園)

Admission: Adults: ¥400 / College students: ¥320 / High school and Junior high school students, Seniors (65 and over): ¥200 / Junior high school students living in or commuting to Tokyo, Elementary school students and younger: Free
Closed: Mon. (When Mon. is a national holiday, closed on the following weekday. Except Apr.1, 8, 30)

042-388-3300

URL ▶ http://www.tatemonoen.jp

P.29 → Map 03

4–9月 9:30–17:30、10–3月 9:30–16:30

東京都現代美術館

Museum of Contemporary Art Tokyo

リニューアル・オープン記念展

企画展「百年の編み手たち―流動する日本の近現代美術―」

3月29日（金）～6月16日（日）

Weavers of Worlds – A Century of Flux in Japanese Modern / Contemporary Art –

Mar. 29 Fri. – Jun. 16 Sun.

中原實《杉の子》1947
NAKAHARA Minoru, *Baby Cedar,* 1947

横尾忠則《腰巻お仙》（劇団状況劇場）1966
YOKOO Tadanori, *KOSHIMAKI-OSEN,* Gekidan Jokyo Gekijo, 1966

1910年代から現在までの日本の近現代美術について、新旧のさまざまな表現や技法を編集的な視点で捉え、独自の創作を展開した「編み手」である作家たちの実践を、当館のコレクションを核に再考します。日本の近現代美術史のなかに点在する重要な作品群を、3フロアの展示室全体を使って総覧することで、百年にわたる歴史のひとつの側面が明らかになるでしょう。

A re-examination of the museum's collection of contemporary art from 1910 to the present day as the work of artists who maintained a firm grasp on old and new modes of expression while "weaving" their own unique worldviews into their art. The exhibition will encompass all three floors of the museum to give visitors an opportunity to better understand the last hundred years of Japanese art history through a selection of important works.

料金：一般1,300（1,040）円、大学生・専門学校生・65歳以上900（720）円、高校生・中学生600（480）円、小学生以下無料。（ ）内は20名以上の団体料金。障害者手帳等をお持ちの方は無料（詳細はP.28）。※企画展のチケットでコレクション展もご覧いただけます。
休館日：月曜日（ただし4月29日、5月6日は開館）、5月7日（火）

Admission: Adults: ¥1,300, College and Vocational students, Seniors (65 and over): ¥900, High school and Junior high school students: ¥600, Elementary school students and younger: Free ＊Free entry to MOT Collection ticket holders
Closed: Mon. (Except Apr.29, May 6), May 7 Tue.

コレクション展「MOTコレクション　ただいま / はじめまして」

第1期：3月29日（金）～6月16日（日）

MOT Collection: Pleased to meet you. New Acquisitions in recent years

PART1: Mar. 29 Fri. – Jun. 16 Sun.

中園孔二《無題》2012
NAKAZONO Koji, *Untitled,* 2012

棚田康司《雨の像》2016
TANADA Koji, *statue of rain,* 2016

休館中に新たにコレクションに加わった約400点の作品の中から、主に2010年代に制作された作品を、およそ20作家によるゆるやかな個展形式でご紹介します。また、修復を経て戻ってきた作品や、これまで親しまれてきた作品も展示します。

From among the 400 or so new pieces collected by the museum while it was closed for renovations, this event will focus on works produced in the 2010s by around 20 artists, showcased in the style of a collection of informal individual exhibitions. There will also be the return of popular pieces and items that have undergone restoration.

料金：一般500（400）円、大学生・専門学校生400（320）円、高校生・65歳以上250（200）円、中学生以下無料。（ ）内は20名以上の団体料金。障害者手帳等をお持ちの方は無料（詳細はP.28）。
休館日：月曜日（ただし4月29日、5月6日は開館）、5月7日（火）

Admission: Adults: ¥500, College and Vocational students: ¥400, High school students and Seniors (65 and over): ¥250, Junior high school students and younger: Free
Closed: Mon. (Except Apr.29, May 6), May 7 Tue.

東京都現代美術館
03-5777-8600（ハローダイヤル）

URL ▶ http://www.mot-art-museum.jp

P.30 → Map 05

10:00 – 18:00

東京都現代美術館がリニューアル・オープン！

Museum of Contemporary Art Tokyo Reopens!

東京都現代美術館は、諸設備の改修と利便性の向上を図るため、約3年にわたる大規模改修工事による休館を経て、2019年3月29日にリニューアル・オープンしました。今回の改修では経年劣化に伴う設備機器の更新をはじめ、公園とつながり、美術館をすみずみまで楽しんでいただくための新たなサインやパブリックスペースの整備、美術図書室の改装などを行いました。

After three years of renovations to improve utility and accessibility, the Museum of Contemporary Art Tokyo reopened on March 29th, 2019. In addition to repairs to aging facilities and equipment, improved signage will ensure visitors can enjoy every corner of the museum. Improvements have been made to public spaces in and around the approach to the museum on the Kiba Park side, and the Art Library has also undergone renovations.

主なリニューアル施設　Main areas of renovation

美術図書室

映像資料が閲覧できる「メディアブース」のほか、お子様も楽しめる美術書を集めた「こどもとしょしつ」も新設しました。
開室時間：10:00～18:00
閉室日：美術館休館日

Art Library
New features include "Media booths" where visitors can watch audio-visual materials, and an expanded "Children's Library" with many art books for children to enjoy.
Open: 10:00 – 18:00　**Closed:** When the Museum is closed

ミュージアムショップ「NADiff contemporary」

現代アート関連書籍をはじめ、多様なプロダクトを取り揃えております。また、期間限定でリニューアル・オープン記念トートバッグも販売します。
営業時間：10:00～18:00　**定休日：**美術館休館日

Museum Shop "NADiff contemporary"
The Museum Shop stocks a wide range of products including books related to modern art. Tote bags commemorating the museum's reopening will also be available for a limited time.
Open: 10:00 – 18:00　**Closed:** When the Museum is closed

レストラン「100本のスプーン」

ご家族でも楽しめるレストラン。誰もがよく知るメニューを新たな味わいでご提供します。
営業時間：11:00～18:00
（ラストオーダー17:00）
定休日：美術館休館日

Restaurant "100 Spoons"
A restaurant where families can enjoy dining together, offering delicious new taste experiences of familiar menu items.
Open: 11:00 – 18:00 (L.O. 17:00)　**Closed:** When the Museum is closed

URL ▶ https://100spoons.com/mot

カフェ＆ラウンジ「二階のサンドイッチ」

定番と日替わりのサンドイッチやオリジナルのドリンクを、店内でもテイクアウトでもお楽しみいただけます
営業時間：10:00～18:00
（ラストオーダー17:30）
定休日：美術館休館日

Café & Lounge "SANDWICH UPSTAIRS"
Enjoy classic sandwiches and daily specials with original drinks, either in-store or to take away.
Open: 10:00 – 18:00 (L.O. 17:30)　**Closed:** When the Museum is closed

URL ▶ http://www.smiles.co.jp/upstairs

東京都渋谷公園通りギャラリー

Tokyo Shibuya Koen-dori Gallery

東京都渋谷公園通りギャラリーは施設改修工事に伴い休館しております。グランドオープンは2019年度中を予定しております。休館中は、都内各所でダイバーシティの理解促進を図るための展覧会や普及啓発イベント等を実施しています。イベント情報は決定次第ウェブサイトでお知らせします。

Tokyo Shibuya Koen-dori Gallery has been temporarily closed for renovation and will fully open in fiscal 2019.
While closing, the gallery will hold exhibitions and public awareness events to promote understanding of diversity across the city. Details will be informed on website as they are confirmed.

東京都渋谷公園通りギャラリー
03-5245-4111（代表）東京都現代美術館内

URL ▶ http://inclusion-art.jp

P.30 → Map 06

東京都庭園美術館

Tokyo Metropolitan Teien Art Museum

キスリング展　エコール・ド・パリの夢

4月20日（土）〜7月7日（日）

Kisling, Grande figure de l'Ecole de Paris

Apr. 20 Sat. – Jul. 7 Sun.

《ベル＝ガズー（コレット・ド・ジュヴネル）》1932–33年
カンティーニ美術館、マルセイユ
©Musée Cantini, Marseille

エコール・ド・パリを代表する画家、キスリング（Kisling 1891–1953）。ポーランドのクラクフで生まれたキスリングは、美術学校を卒業後、19歳でパリに出ました。モンマルトルやモンパルナスで、ピカソ、モディリアーニ等と知り合い、キュビスムやフォーヴィスムの潮流を間近で感じつつも、独自の画風を確立していきます。
風景画、静物画、裸婦等において独自のスタイルを発展させていきましたが、なかでも肖像画にその特徴が最もよく表われています。丁寧な筆致による洗練されたレアリスムと、静謐なムードに満ち、輝かしく官能的な色彩によって、キスリングはエコール・ド・パリの重要な芸術家として位置付けられるのです。本展では1920〜30年代のパリで、時代の寵児となったキスリングの画業を、約60点の作品により振り返ります。

Kisling (1891–1953) was a prominent artist of l'Ecole de Paris. Born in Kraków, Poland, after graduating from art school he moved to Paris at the age of 19. At Monmartre and Montparnasse, he became acquainted with Picasso and Modigliani. Though he was influenced by the burgeoning Cubist and Fauvist movements, he began to establish his own unique painting style. Many of the works he created over his productive career were portraits, for which he developed his own inimitable aesthetic. Marked by a sophisticated realism achieved through delicate brushstrokes, and filled with tranquil mood and bright, sensuous colours, Kisling's unique style made him a valued member of l'Ecole de Paris. Through around 60 pieces, this exhibition will look back on Kisling's art from the period 1920–30, when he was a favourite of the Paris art scene.

観覧料：一般1,100（880）円、大学生・専門学校生880（700）円、高校生・中学生［都外］・65歳以上550（440）円、中学生［都内］・小学生以下は無料。（ ）内は20名以上の団体料金。障害者手帳等をお持ちの方は無料（詳細はP.28）。
休館日：毎月第2・4水曜日

Admission: Adults: ¥1,100 / College and Vocational students: ¥880 / High school and Junior high school students, Seniors (65 and over): ¥550 / Junior high school students living in or commuting to Tokyo, Elementary school students and younger: Free
Closed: 2nd and 4th Wed.

1933年の室内装飾―朝香宮邸をめぐる建築素材と人びと（仮称）

7月20日（土）〜9月23日（月・祝）

Looking at Architecture 2019 (tentative)

Jul. 20 Sat – Sep. 23 Mon.

松井写真館《朝香宮邸大客室》1933年

本展は、1933年に竣工した旧朝香宮邸（東京都庭園美術館本館）の建築としての魅力を紹介する、年に1度の建物公開展です。今回は、建築の室内を構成する要素ー木材や石材、タイル、壁紙、家具などーに焦点を当て、その素材や技法、携わった職人や企業について、工事仕様書やカタログ等の資料から解き明かします。

This exhibition looks at the architecture of the museum's main building, originally built in 1933 as the residence of the Asaka branch of the Imperial family. This time, the event will focus on the building's interior and the materials that make it up, including the wood, stone, tiles and furniture. It will also look at the techniques used in construction and the craftsmen and businesses that were involved, through construction plans, catalogues and other documents.

観覧料：一般900（720）円、大学生・専門学校生720（570）円、高校生・中学生［都外］・65歳以上450（360）円、中学生［都内］・小学生以下は無料。（ ）内は20名以上の団体料金。障害者手帳等をお持ちの方は無料（詳細はP.28）。
休館日：毎月第2・4水曜日

Admission: Adults: ¥900 / College and Vocational students: ¥720 / High school and Junior high school students, Seniors (65 and over): ¥450 / Junior high school students living in or commuting to Tokyo, Elementary school students and younger: Free
Closed: 2nd and 4th Wed

03-5777-8600（ハローダイヤル）

URL ▶ http://www.teien-art-museum.ne.jp

P.29 → Map 01

10:00–18:00

トーキョーアーツアンドスペース

Tokyo Arts and Space

トーキョーアーツアンドスペース レジデンス2019 成果発表展「予兆の輪郭」

第1期：4月13日（土）〜5月19日（日）／第2期：6月1日（土）〜7月7日（日）

TOKAS Creator-in-Residence 2019 Exhibition Foreshadows

Part 1: Apr. 13 Sat. – May 19 Sun. / Part 2: Jun. 1 Sat. – Jul. 7 Sun.

曽谷朝絵《Chords》2018
撮影者：Yasuyuki Kasagi

2006年より実施しているレジデンス・プログラム「クリエーター・イン・レジデンス」では、東京や海外の派遣先を舞台に、アートや音楽、建築など様々なジャンルや国籍のクリエーターたちへ滞在制作の機会を提供しています。本展では2018年にレジデンス滞在を経た14組が成果発表を行います。

Tokyo Arts and Space Residency Program has been running since 2006, offering international creators, from various genres, including art, film, music and architecture, spaces to live and create, both in Tokyo and overseas. This exhibition will showcase the work of 14 individuals and groups from the 2018 residency program.

観覧料：無料　**会場：**トーキョーアーツアンドスペース本郷
休館日：月曜日（4月29日、5月6日は開館）、5月7日（火）

Admission: Free　**Venue:** Tokyo Arts and Space Hongo
Closed: Mon. (Except Apr. 29, May 6), May 7 Tue.

TOKAS-Emerging 2019［第1期］

7月20日（土）〜8月18日（日）

TOKAS-Emerging 2019 Part 1

Jul. 20 Sat. – Aug. 18 Sun.

谷崎桃子《lonely girl もう時間》2018

若手アーティストに個展開催の機会を提供してきた「Emerging」が「TOKAS-Emerging」として、日本在住の35歳以下のアーティストを対象にした公募プログラムに生まれ変わりました。2019年は審査を経て選ばれた6名を2期にわたり、9月末まで個展形式で紹介します。

The "Emerging" program which gave young artists the opportunity of hosting a solo exhibition has been reinvented as "TOKAS-Emerging", a submission-based program open to any Japan-based artist under the age of 35. 6 entrants chosen by the judges will have their work exhibited over two periods until the end of September.

観覧料：無料
会場：トーキョーアーツアンドスペース本郷
休館日：月曜日（8月12日は開館）、8月13日（火）

Admission: Free
Venue: Tokyo Arts and Space Hongo
Closed: Mon. (Except Aug. 12), Aug. 13 Tue.

オープン・スタジオ2019–2020

7月12日（金）〜14日（日） 11:00〜17:00

OPEN STUDIO 2019–2020

Jul. 12 Fri. – 14 Sun. 11:00 – 17:00

2018年11月「オープン・スタジオ2018–2019」の様子

オープン・スタジオでは、普段なかなか見ることのできないレジデンスに滞在中のクリエーターの制作やリサーチ活動を展示・公開します。クリエーターによる解説やゲストを招いてのトークも実施します。

Through OPEN STUDIO, visitors can get a look at creators' rarely-seen creative processes and research activity. There will also be presentations by the creators and talks with invited guests.

観覧料：無料
会場：トーキョーアーツアンドスペースレジデンシー

Admission: Free
Venue: Tokyo Arts and Space Residency

03-5689-5331（本郷）
03-5625-4433（レジデンシー）

URL ▶ http://www.tokyoartsandspace.jp

P.30 → Map 07 08

東京都写真美術館
Tokyo Photographic Art Museum

TOP MUSEUM
東京都写真美術館

志賀理江子　ヒューマン・スプリング
3月5日（火）〜5月6日（月・振休）

Shiga Lieko: Human Spring
Mar. 5 Tue. – May 6 Mon.

志賀理江子〈ヒューマン・スプリング〉2019年　作家蔵　©Lieko Shiga
Lieko Shiga, *Human Spring,* 2019 ©Lieko Shiga

独自のフィールドワークを元に制作する作品群で、国際的な注目を集める写真家、志賀理江子の新作個展。現在を生きる私たちの心身の衝動と反動などに焦点をあて、日本各地の人々と協働制作した新作を、等身大を超えるスケールの写真インスタレーションで構成します。

A special exhibition of new works by Shiga Lieko, a photographer who has garnered international attention for the unique location work featured in her photography. Throwing a spotlight on the impulses and reactions that affect the minds and bodies of people in the present day, this event will display larger than life-size versions of new works produced in cooperation with people all over Japan in the form of a photographic installation.

料金：一般700（560）円、学生600（480）円、高校生・中学生［都外］・65歳以上500（400）円、中学生［都内］・小学生以下無料。
※（ ）内は20名以上の団体料金。障害者手帳等をお持ちの方は無料（詳細はP.28）。
休館日：月曜日（ただし、4月29日、5月6日は開館）

Admission: Adults: ¥700 / College students: ¥600 / High school and Junior high school students, Seniors (65 and over): ¥500 / Junior high school students living in or commuting to Tokyo, Elementary school students and younger: Free
Closed: Mon. (Except Apr. 29, May 6)

写真の起源　英国
3月5日（火）〜5月6日（月・振休）

The Origin of Photography: Great Britain
Mar. 5 Tue. – May 6 Mon.

フアン・モンティソン伯爵（後のスペイン王フアン3世）《リージェンツ・パーク動物園のカバ、1852年、ロンドン》1852年 大英図書館蔵
Don Juan, Count of Montizon, *Hippopotamus at the Zoological Gardens, Regent's Park, 1852 London,* 1852, British Library
© British Library Board (C.43.i.7)

これまで日本では知られなかった英国の初期写真の名品群を、日本初公開します。写真のルーツを紐解く貴重な機会です。

The first public display in Japan of famous works from the dawn of photography in Great Britain. This will be a rare opportunity to delve into the roots of photographic art.

料金：一般900円ほか。障害者手帳等をお持ちの方は無料（詳細はP.28）。

Admission: Adults: ¥900, and more

宮本隆司　いまだ見えざるところ
5月14日（火）〜7月15日（月・祝）

Miyamoto Ryuji: Invisible Land
May 14 Tue. – Jul. 15 Mon.

宮本隆司〈ロー・マンタン 1996〉より 1996年
Ryuji Miyamoto, from Lo Manthang 1996, 1996

建築空間を題材にした独自の視点で国際的に高い評価を受けている宮本隆司の個展を開催。初期の作品からアジアの都市を旅して撮影した近作までを紹介します。

A solo exhibition of work by Miyamoto Ryuji, who has received high praise internationally for his unique photographic take on various architectural spaces. The exhibition will show both his early work and more recent activity photographed while travelling the cities of Asia.

料金：一般700円ほか。障害者手帳等をお持ちの方は無料（詳細はP.28）。

Admission: Adults: ¥700, and more

03-3280-0099
URL ▶ http://topmuseum.jp
P.29 → Map 04
10:00–18:00（木・金曜日–20:00）

東京都美術館
Tokyo Metropolitan Art Museum

東京都美術館

クリムト展　ウィーンと日本 1900
4月23日（火）〜7月10日（水）

Gustav Klimt: Vienna – Japan 1900
Apr. 23 Tue. – Jul. 10 Wed.

ウィーンの画家グスタフ・クリムト（1862-1918）の没後100年を記念する展覧会。《ユディトⅠ》などの代表作を中心に、同時代のウィーンの画家たちの作品や、クリムトが影響を受けた日本の美術品などもあわせ、世紀末ウィーン美術の精華をご覧ください。

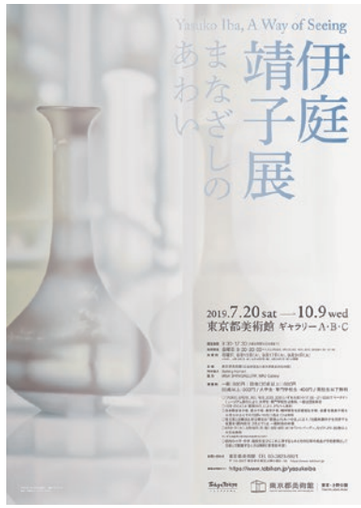
An exhibition commemorating the centennial of the death of Viennese painter Gustav Klimt (1862-1918). Through *Judith I* and other major paintings by Klimt, works by his contemporaries in Vienna, and Japanese artworks inspirational to his style, the exhibition will revive the splendor of fin-de-siècle Viennese art.

お問い合わせ先：TEL 03-5777-8600（ハローダイヤル）
URL ▶ https://klimt2019.jp

※6月1日（土）〜14日（金）は大学生・専門学校生・高校生無料

伊庭靖子展　まなざしのあわい
7月20日（土）〜10月9日（水）

Yasuko Iba, A Way of Seeing
Jul. 20 Sat. – Oct. 9 Wed.



画家の眼とモティーフのあわいにある世界に魅せられた伊庭靖子（1967-）は、触れたくなるような質感やそれがまとう光を描き、その景色を表現しつづけてきました。東京都美術館で撮影した写真をもとにした絵画をはじめ、版画、映像作品を展示します。

Yasuko Iba (1967-), fascinated by the world manifesting between her eye and her motif, captures the fleeting scene by depicting alluring textures under the play of light. This exhibition will feature paintings created by Iba from photos taken at Tokyo Metropolitan Art Museum, as well as print works and video art.

お問い合わせ先：TEL 03-3823-6921 東京都美術館事業係
URL ▶ https://www.tobikan.jp/yasukoiba

都美セレクション グループ展 2019
6月9日（日）〜30日（日）

Group Show of Contemporary Artists 2019
Jun. 9 Sun. – 30 Sun.

お問い合わせ先：TEL 03-3823-6921 東京都美術館交流係
URL ▶ https://www.tobikan.jp/exhibition/2019_groupshow.html

P.31 → Map 09

東京文化会館

Tokyo Metropolitan Festival Hall, Tokyo Bunka Kaikan

東京2020公認プログラム

オペラ夏の祭典2019–20 Japan↔Tokyo↔World『トゥーランドット』

7月12日(金)18:30開演・13日(土)14:00開演・14日(日)14:00開演 / 大ホール

Summer Festival Opera 2019–20 Japan↔Tokyo↔World “Turandot”

Jul. 12 Fri. 18:30, 13 Sat. 14:00, 14 Sun. 14:00 / Main Hall

大野和士　Kazushi Ono
(Conductor / General Producer)

アレックス・オリエ
Àlex Ollé
(Production)

イレーネ・テオリン
Iréne Theorin
(Turandot)

ジェニファー・ウィルソン
Jennifer Wilson
(Turandot)

テオドール・イリンカイ
Teodor Ilincăi
(Calaf)　©Petrica Tanase

デヴィッド・ポメロイ
David Pomeroy
(Calaf)

中村恵理　©Chris Gloag
Eri Nakamura
(Liù)

砂川涼子
Ryoko Sunakawa
(Liù)

リッカルド・ザネッラート
Riccardo Zanellato
(Timur)

妻屋秀和
Hidekazu Tsumaya
(Timur)

バルセロナ交響楽団　©May Zircus
Barcelona Symphony Orchestra

世界で活躍する指揮者、大野和士の提案により実現した、日本オペラ界が総力を挙げて創り上げる一大プロジェクト。東京文化会館と新国立劇場が、2020年に向けて初めて共同制作を行い、日本を代表する各地の劇場と連携して2年にわたり展開します。2019年は、バルセロナオリンピック開会式の演出を手がけたアレックス・オリエが演出する『トゥーランドット』を上演。名アリア「誰も寝てはならぬ」をはじめ、全編を通じて名曲揃いの傑作を最高のキャストでお届けします。

A large-scale project proposed by world-renowned conductor Kazushi Ono, which has been created through the combined effort of the Japanese opera world. This will be the first co-production by Tokyo Bunka Kaikan and The New National Theatre, Tokyo, and over two years will be brought to major theaters all over Japan. 2019's production will be Turandot, directed by Alex Olle, famous for his work on the opening ceremony of the Barcelona Olympic Games. Featuring well-known music including the famous aria “Nessun dorma”, this operatic masterpiece will be presented with a stunning cast.

指揮・総合プロデュース:大野和士　**演出:**アレックス・オリエ
出演:イレーネ・テオリン●、ジェニファー・ウィルソン★(トゥーランドット)、テオドール・イリンカイ●、デヴィッド・ポメロイ★(カラフ)、中村恵理●、砂川涼子★(リュー)、リッカルド・ザネッラート●、妻屋秀和★(ティムール)ほか
●:7月12日・14日　★:13日
合唱:新国立劇場合唱団、藤原歌劇団合唱部、びわ湖ホール声楽アンサンブル
児童合唱:TOKYO FM少年合唱団
管弦楽:バルセロナ交響楽団
料金:SS席32,400円、S席27,000円、A席22,680円、B席18,360円、C席14,040円、D席9,720円(完売)、E席5,400円(完売)、F席3,240円(完売)、25歳以下席3,240円(要証明書)

Admission: SS seats: ¥32,400 / S seats: ¥27,000 / A seats: ¥22,680 / B seats: ¥18,360 / C seats: ¥14,040 / D seats: ¥9,720 (sold out) / E seats: ¥5,400 (sold out) / F seats: ¥3,240 (sold out) / 25 and younger: ¥3,240

主催:東京都 / 東京文化会館(公益財団法人東京都歴史文化財団)

音楽　Music

上野deクラシック / 小ホール

4月17日(水) 11:00開演　ヘルバシオ・タラゴナ・ヴァリ(クラリネット)
5月8日(水) 11:00開演　種谷典子(ソプラノ)
5月24日(金) 19:00開演　山田剛史(ピアノ)
6月5日(水) 11:00開演　トロンボーン四重奏(府川雪野、上田智美、辻姫子、星野和音)
7月25日(木) 11:00開演　渡邉千春(ヴィオラ)

Ueno de Classic / Recital Hall

Apr. 17 Wed. 11:00　Gervasio Tarragona Valli (Clarinet)
May 8 Wed. 11:00　Noriko Tanetani (Soprano)
May 24 Fri. 19:00　Takashi Yamada (Piano)
Jun. 5 Wed. 11:00　Trombone Quartet (Yukino Fukawa, Tomomi Ueda, Himeko Tsuji, Kazune Hoshino)
Jul. 25 Thu. 11:00　Chiharu Watanabe (Viola)

創遊・楽落らいぶVol.47
—音楽家と落語家のコラボレーション—

6月20日(木)11:00開演 / 小ホール
瀧川鯉昇(落語)、コーセイ(作曲・ピアノ)ほか

SOYU RAKU RAKU LIVE Vol.47
—Collaboration of Music and Rakugo—

Jun. 20 Thu. 11:00 / Recital Hall
Rishou Takigawa (Rakugo),
Kohsei (Music composition, Piano), and more

Music Program TOKYO

小曽根 真＆スコティッシュ・ナショナル・ジャズ・オーケストラ “Jazz meets Classic”

5月18日(土)17:00開演 / 大ホール、5月19日(日)15:00開演 / オリンパスホール八王子

Music Program TOKYO　Makoto Ozone & Scottish National Jazz Orchestra “Jazz meets Classic”

May 18 Sat. 17:00 / Main Hall　May 19 Sun. 15:00 / Olympus Hall Hachioji

ジャズピアニストの小曽根真が贈る“Jazz meets Classic”に、名門ジャズ・オーケストラが初登場! クラシックの名曲「ピーターと狼」を、俳優・橋爪功のナレーションでお届けします。

Jazz pianist Makoto Ozone is joined for “Jazz meets Classic” for the first time by an illustrious Scotland-based jazz orchestra. The well-known classical composition *Peter and the Wolf* will be performed with narration by actor Isao Hashizume.

料金:S席5,400円、A席4,320円、B席3,240円、25歳以下1,080円(要証明書)
Admission: S seats: ¥5,400 / A seats: ¥4,320 / B seats: ¥3,240 / 25 and younger: ¥1,080

小曽根真　©中村風詩人
Makoto Ozone (Piano)

橋爪功
Isao Hashizume (Narration)

《響の森》Vol.44「コバケン 名曲アラカルトII」

8月1日(木)19:00開演 / 大ホール

Tokyo Bunka Kaikan Orchestra Concert Series “Sound Forest” Vol.44 with Ken-ichiro Kobayashi, Classic À LA CALTE II

Aug. 1 Thu. 19:00 / Main Hall

昨年大好評を博した「コバケン 名曲アラカルト」の第2弾。ギタリストの村治佳織を迎え、マエストロ小林研一郎のトークとともに名曲の数々をお届けします。

The wonderful Kaori Muraji, a guitarist who also does a wide range of work in other fields will make an appearance, and maestro Ken-ichiro Kobayashi will present a series of famous pieces along with explanatory talks.

料金:S席6,480円、A席4,320円、B席2,160円 ※各種割引あり(要証明書)
Admission: S seats: ¥6,480 / A seats: ¥4,320 / B seats: ¥2,160

小林研一郎　©K.Miura
Ken-ichiro Kobayashi
(Conductor)

村治佳織　©Ayako Yamamoto
Kaori Muraji
(Guitar)

夏休み子ども音楽会2019《上野の森文化探検》

8月4日(日)13:00開演 / 大ホール

The 2019 Summer Family Concert “Cultural Exploration in the Forest of Ueno”

Aug. 4 Sun. 13:00 / Main Hall

「オペラ」をテーマにした1時間のオーケストラコンサートに、上野公園内の動物園・美術館・博物館等が無料・割引になる「上野1dayパス」が付くお得な公演を、家族揃ってお楽しみください。

A one-hour orchestra concert under the theme of “opera”, paired with the “Ueno 1 day Pass”, which allows free or discounted entry to Ueno Zoo and museums in Ueno park, as well as special offers from member shops of the Ueno Shop Curtain Meeting. A fun event for all the family.

上野1dayパス　コンサート＋上野動物園＋美術館＋博物館 etc ＝ 小中学生 1,080円！　大人も1,080〜3,240円♪ 上野のれん会のサービス付き!

山下一史　©ai ueda
Kazufumi Yamashita
(Conductor)

ワークショップ　Workshop

Music Program TOKYO

東京文化会館ミュージック・ワークショップ

4月21日(日) 10:30 / 12:00「旅するヨーロッパVol.2」
14:30「Shall we シング?」
5月19日(日) 10:30 / 12:00「タネまき、タネまき、大きくなあれ!」
10:30 / 12:00「森の王様のフェスタ」
14:30「One Day セッション」
6月8日(土) 10:30 / 12:00 / 14:30「とびだせ!おんがくたんけん隊」
10:30 / 12:00「チーズを探せ!くいしんぼうネズミ!」

Music Program TOKYO

Tokyo Bunka Kaikan Music Workshop

Apr. 21 Sun. 10:30 / 12:00 “Journey in Europe Vol.2”
14:30 “Shall we sing?”
May 19 Sun. 10:30 / 12:00 “Tora and Shiroko's story”
10:30 / 12:00 “Festa with the King of the forest”
14:30 “One Day Session”
Jun. 8 Sat. 10:30 / 12:00 / 14:30 “World Music Adventure”
10:30 / 12:00 “Where is the cheese?”

03-3828-2111(代表)
03-5685-0650(東京文化会館チケットサービス)

URL ▶ http://www.t-bunka.jp

P.31 → Map 10
10:00–22:00

東京芸術劇場

Tokyo Metropolitan Theatre

TACT FESTIVAL 2019

5月4日（土・祝）〜6日（月・振休）

TACT FESTIVAL 2019

May 4 Sat. – 6 Mon.

URL ▶ http://www.tactfes2019.com

「五月の連休は家族そろって池袋で楽しもう！」

「TACT FESTIVAL（Theater Arts for Children and Teens Festival）」とは、子どもも大人も楽しめる海外の上質な舞台芸術作品を紹介する芸術フェスティバルとして、今年で10回目を迎えます。今年も、観て、聴いて、参加して、親子一緒に楽しめるプログラムをたっぷり集めました。ファミリーで楽しめ、多感な時期の子どもたちに芸術を届ける「TACT FESTIVAL」にどうぞお越しください。

“Enjoy the May holidays with the family in Ikebukuro!”

TACT FESTIVAL (Theater Arts for Children and Teens Festival) is an arts festival, now in its tenth time, which introduces high-quality performing arts pieces from overseas that both children and grown-ups can enjoy. As usual, this year’s festival will feature a range of events that parents and children can watch, listen to and participate in together. Take this opportunity to expose your children to a range of experiences and enjoy TACT FESTIVAL with family.

プログラム（予定）

イラスト © 加藤木麻莉

マサト先生のミュージック・エデュケーション・プログラム〜リズム！リズム！リズム！〜

ティーンズのためのクラシック講座

5月5日（日・祝）14:00開演 / コンサートホール

Maestro Masato's Music Education Program – Rhythm! Rhythm! Rhythm!

May 5 Sun. 14:00 / Concert Hall

世界中で活躍中の鈴木優人（マサト先生）が、読売日本交響楽団と共に贈るティーンズのためのクラシック講座。温水洋一の語りで楽しむ「オーケストラストーリーズ となりのトトロ」とスティーヴ・ライヒ「オーケストラのための3つの楽章」、ラヴェル「ボレロ」の3つの作品をマサト先生のレクチャーを交えて紹介します。

A classical music lecture aimed at teens presented by internationally-active composer Masato Suzuki (Maestro Masato) and the Yomiuri Nippon Symphony Orchestra. The lecture will be interspersed with excerpts from “Orchestra Stories: Tonari no Totoro”, Steve Reich’s “Three Movements for Orchestra” and Ravel’s “Bolero”.

料金：一般3,500円、高校生以下1,000円

Admission: Adults: ¥3,500 / High school students and younger: ¥1,000

イラスト © 加藤木麻莉

ベイビー・ミュージックサロン

〜赤ちゃんと楽しむ本格的なバロック音楽〜

※0歳から入場可、途中入退場自由

5月4日（土・祝）〜6日（月・振休）10:00開演 / ギャラリー1

“BABY MUSIC SALON”

May 4 Sat. – 6 Mon. 10:00 / Gallery 1

料金：小学生以上2,000円、子ども（未就学児）500円

Admission: Elementary school children and over: ¥2,000 / Preschool children: ¥500

GEIGEKI WIND ORCHESTRA ACADEMY

【無料】芸劇ウインド・オーケストラ・アカデミー アトリウムコンサート

5月4日（土・祝）〜6日（月・振休）11:00〜11:30 / アトリウム

【Free Event】GEIGEKI Wind Orchestra Academy “Atrium Concert”

May 4 Sat. – 6 Mon. 11:00 – 11:30 / Atrium

音楽　Music

スイス・ロマンド管弦楽団

4月13日（土）14:00開演 / コンサートホール

Orchestre de la Suisse Romande

Apr. 13 Sat. 14:00 / Concert Hall

ナイトタイム・パイプオルガンコンサート

Vol.26　4月18日（木）　19:30開演 / コンサートホール

Vol.27　6月20日（木）　19:30開演 / コンサートホール

Nighttime Organ Concert

Vol.26 Apr. 18 Thu. 19:30 / Concert Hall

Vol.27 Jun. 20 Thu. 19:30 / Concert Hall

ランチタイム・パイプオルガンコンサート

Vol.132　5月23日（木）　12:15開演 / コンサートホール

Vol.133　7月18日（木）　12:15開演 / コンサートホール

Lunchtime Organ Concert

Vol.132 May 23 Thu. 12:15 / Concert Hall

Vol.133 Jul. 18 Thu. 12:15 / Concert Hall

パイプオルガン講座　第77回

―芸劇のオルガンを弾こう！―

5月27日（月）/ コンサートホール

Organ Lecture Vol.77

May 27 Mon. / Concert Hall

1927『獣よ、子供よ、街に出よ！』 ※英語上演・日本語字幕付

5月4日（土・祝）〜6日（月・振休）16:00開演 / プレイハウス

1927 “The Animals and Children Took To The Streets”

***In English with Japanese subtitle**

May 4 Sat. – 6 Mon. 16:00 / Playhouse

ようこそ マジカル・アニメーション・シアターへ！ UK発のシアターカンパニー1927による、アニメーション×映像×ライブ・パフォーマンスを融合させた、「こわカワ」パフォーマンスです。

Welcome to the Magical Animation Theatre!
This cute-but-creepy show by British theatre company 1927 will fuse animation, video and live performance.

料金：一般3,500円、U18（高校生以下）1,000円

Admission: Adults: ¥3,500 / High school students and younger: ¥1,000

【無料】WONDER WATER ＋ Rinne ＋ MASK サーカスとダンス（パフォーマンス）

5月4日（土・祝）〜6日（月・振休）/ ロワー広場

【Free Event】WONDER WATER ＋ Rinne ＋ MASK Circus and Dance

May 4 Sat. – 6 Mon. / Lower Plaza

© 横山マサト

【無料】田中泯『場踊り』（ダンスパフォーマンス）

5月5日（日・祝）・6日（月・振休）12:00〜13:00 / 劇場前広場

【Free Event】Min Tanaka “Locus Focus”

May 5 Sun., 6 Mon. 12:00 –13:00 / Front entrance of the theatre

ひびのこづえプロデュース『いきものブローチ作り』

5月4日（土・祝）〜6日（月・振休）11:00〜17:00 / アトリエイースト

Kodue Hibino Produce “Marine Creature Broach WS”

May 4 Sat. – 6 Mon. 11:00 – 17:00 / Atelier East

参加費：100円　Participation fee: ¥100

【無料】『ゆるゆる休憩所 モモンガ・ハウス』

5月4日（土・祝）〜6日（月・振休）11:00〜17:00 / アトリエウエスト

【Free Event】”Momonga House”

May 4 Sat. – 6 Mon. 11:00 – 17:00 / Atelier West

演劇・ダンス　Stage, Dance

東アジア文化都市2019豊島 スペシャル事業

中国国家話劇院「リチャード三世」

4月5日（金）〜7日（日）/ プレイハウス

Richard III

Apr. 5 Fri. – 7 Sun. / Playhouse

韓国ナショナル・シアターカンパニー招聘公演「ポッコちゃん〜星新一 ショートショートセレクション〜」

5月30日（木）〜6月2日（日）

National Theater Company of Korea Bokko-chan 〜Shinichi Hoshi short short selection〜

May 30 Thu. – Jun. 2 Sun.

芸劇dance　ローザス

「A Love Supreme〜至上の愛」5月9日（木）〜12日（日）/ プレイハウス

「我ら人生のただ中にあって / バッハ無伴奏チェロ組曲」

5月18日（土）・19日（日）/ プレイハウス

Rosas

“A Love Supreme” May 9 Thu. – 12 Sun. / Playhouse

“Mitten wir im Leben sind / Bach6Cellosuiten”

May 18 Sat., 19 Sun. / Playhouse

熊林弘高 演出「お気に召すまま」

7月下旬〜8月中旬（予定）/ プレイハウス

“As You Like It” Directed by Hirotaka Kumabayashi

Late Jul. – Mid Aug. (tentative) / Playhouse

ワークショップ・イベント　Workshop / Event

芸劇＋まちがく

6月7日（金）

Geigeki + Machigaku

Jun. 7 Fri.

03-5391-2111（代表）
0570-010-296（チケット取扱い）

URL ▶ http://www.geigeki.jp

P.31 → Map 11

9:00–22:00

アーツカウンシル東京

Arts Council Tokyo

アーツカウンシル東京は、世界的な芸術文化都市東京として、芸術文化の創造・発信を推進し、東京の魅力を高める多様な事業を展開しています。

Arts Council Tokyo implements a variety of programs to promote the creation and dissemination of arts and culture and increase Tokyo's appeal as a global city of arts and culture.

六本木アートナイト2019

5月25日(土)・26日(日)

Roppongi Art Night 2019

May 25 Sat., 26 Sun.

六本木アートナイト2018の様子　©六本木アートナイト実行委員会

会場: 六本木ヒルズ、森美術館、東京ミッドタウン、サントリー美術館、21_21 DESIGN SIGHT、国立新美術館、六本木商店街、その他六本木地区の協力施設や公共スペース
料金: 無料(ただし、一部のプログラム及び美術館企画展は有料)
主催: 東京都、アーツカウンシル東京(公益財団法人東京都歴史文化財団)、港区、六本木アートナイト実行委員会【国立新美術館、サントリー美術館、東京ミッドタウン、21_21 DESIGN SIGHT、森美術館、森ビル、六本木商店街振興組合(五十音順)】

Venues: Roppongi Hills, Mori Art Museum, Tokyo Midtown, Suntory Museum of Art, 21_21 DESIGN SIGHT, The National Art Center, Tokyo, Roppongi Shopping District, other cooperating facilities and public spaces in the Roppongi area.
Admission: Free (however, fee is required for certain programs and museum events)

六本木アートナイトは、生活の中でアートを楽しむという新しいライフスタイルの提案と、大都市東京におけるまちづくりの先駆的なモデル創出を目的に、様々な文化施設や商業施設が集積する東京・六本木を舞台に開催する一夜限りのアートの饗宴です。2019年のテーマは「夜の旅、昼の夢」。メインアーティストとして韓国を代表する現代アーティストのチェ・ジョンファを迎え、現代アート、デザイン、音楽、映像、パフォーマンス等の多様な作品を六本木の街なかに点在させ、非日常的な体験をつくり出します。

"Roppongi Art Night" is a one-night-only feast of artistic work which uses Roppongi's cultural and commercial facilities as a stage, and aims both to propose a new way of living that incorporates art into everyday life, and suggest a model for pioneering town planning in one of the world's largest cities. The 2019 theme is "Night Journey, Daydream". The event will welcome leading Korean contemporary artist Choi Jeong Hwa, and feature a range of works spanning the genres of contemporary art, design, music, film and performance dotted around Roppongi, creating an experience that's far removed from everyday life.

神楽坂まち舞台・大江戸めぐり2019

5月11日(土)・12日(日) / 神楽坂エリア

Kagurazaka Street Stage O-edo Tour 2019 (Japanese Traditional Culture Festival)
May 11 Sat., 12 Sun. / Kagurazaka area

東京キャラバン in いわき

5月19日(日) / 福島県いわき市

Tokyo Caravan in Iwaki
May 19 Sun. / Iwaki City, Fukushima

伝承のたまてばこ〜多摩伝統文化フェスティバル2019〜

5月25日(土)・26日(日) / 八王子エリア

Legendary Tamatebako (Treasure Box) – Tama Traditional Culture Festival 2019
May 25 Sat., 26 Sun. / Hachioji area

国立劇場共催公演事業 「神々の残照」—伝統と創造のあわいに舞う—

5月25日(土) / 国立劇場

Program Co-organized by the National Theatre "Afterglow of the divine" – Dancing between tradition and creation –
May 25 Sat. / National Theatre

外国人向け伝統文化・芸能体験プログラム

Traditional Culture and Performing Arts Experience Program for Foreign Visitors

外国人旅行者などを対象に、日本の本格的な伝統文化・芸能を短時間で気軽に体験できるプログラムを実施。演芸、日本舞踊、長唄三味線などをそれぞれプロの講師の指導のもとに体験することができます。なお、すべてのプログラムに英語の解説が付きます。

Authentic firsthand experiences of traditional Japanese culture and performing arts are offered. Programs, such as Engei Japanese traditional entertainment, traditional Japanese dance and Shamisen of Nagauta music are conducted by professionals. English interpretation is also provided for all programs. Please refer to the official website (www.artscouncil-tokyo.jp/en/) for further details.

演芸プログラム

江戸時代から人気がある演芸のうち「紙切り」、「曲芸」、「和妻」を、プロの手本を見ながら体験。
日程: 2019年4月6日から2020年3月28日までの毎週土曜日(ただし、10月5日、12月28日は除く)
会場: 東京都江戸東京博物館
時間: 1日3回(各回30分)
料金: 無料(ただし、博物館の常設展観覧料が必要)

Engei Workshop (Japanese traditional entertainment)

Dates: Every Sat. from Apr. 6, 2019 through Mar. 28, 2020 (except Oct. 5, Dec. 28)
Venue: Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum
Time: 3 times a day (30 min. each time)
Admission: Free (Admission fee for Permanent Exhibition is charged.)

日本舞踊プログラム

浴衣を着て、日本の伝統芸能である「日本舞踊」の所作を気軽に体験。
日程: 2019年4月7日から2020年3月29日までの毎週日曜日(ただし、除外日あり)
会場: 浅草文化観光センター6F
時間: 1日3回(各回1時間)
定員: 各回20名　**料金:** 無料

Japanese Dance Workshop

Dates: Every Sun. from Apr. 7, 2019 through Mar. 29, 2020 (There are some exceptions)
Venue: Asakusa Culture Tourist Information Center 6F
Time: 3 times a day (1 hour each time)
Enrollment limit: 20 per session
Admission: Free

長唄三味線プログラム

長唄のデモンストレーションと演奏体験。
日程: 2019年9月から2020年2月までの第3日曜日
会場: 浅草文化観光センター6F
時間: 1日3回(各回1時間)
定員: 各回25名　**料金:** 無料

Shamisen of Nagauta Workshop

Dates: 3rd Sun. from Sep., 2019 through Feb., 2020
Venue: Asakusa Culture Tourist Information Center 6F
Time: 3 times a day (1 hour each time)
Enrollment limit: 25 per session
Admission: Free

Tokyo Art Research Lab (TARL)

URL ▶ https://tarl.jp/

アートプロジェクトを担う全ての人のための「使える」ラボ
アートプロジェクトを担う全ての人々に開かれ、共につくりあげる学びのプログラムです。人材の育成、現場の課題に応じたスキルの開発、資料の提供やアーカイブなどを通じ、社会におけるアートプロジェクトの可能性を広げることを目指しています。

tarl TOKYO ART RESEARCH LAB

● 思考と技術と対話の学校
アートプロジェクトの担い手のための学校。社会的な課題を「思考」し、アートプロジェクトの現場をつくるための「技術」を磨き、問題意識を共有するメンバーと「対話」することを重視する学びの場です。これからアートプロジェクトに関わりたい方、現場で活躍しながら次のステップに進みたい方に向けた実践的なプログラムを提供しています。

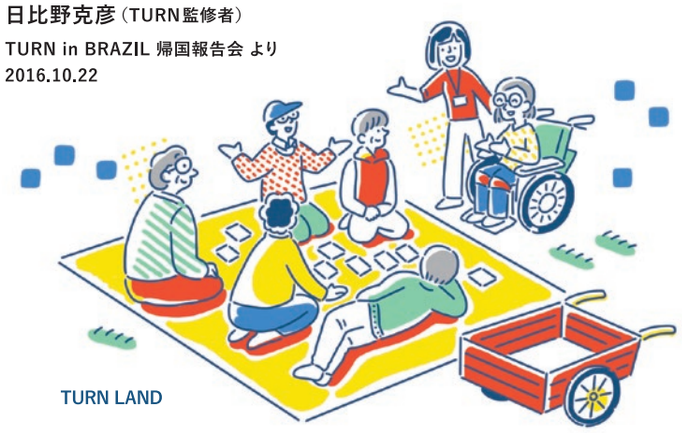
● 研究・開発
アートプロジェクトの現場の課題に応じた新たなスキルの検証と確立を目指す「研究・開発」プログラム。専門家や研究者による新しいスキルの開発や、実践の環境を整えるための研究をしています。研究成果は、TARLウェブサイトや発行物等を通じて広く公開していきます。また、一部、公開研究会などの開催により、研究プロセスへの参加機会も設けています。

03-6256-8432(広報)

URL ▶ http://www.artscouncil-tokyo.jp

TURNの目指すところは、単なるアートプロジェクトでもないし、福祉の次世代型でもない。社会の基盤をよみかえるというか、つくりかえる力がTURNにはあるし、そこまで持っていきたいなと思うんです。

日比野克彦（TURN監修者）
TURN in BRAZIL 帰国報告会 より
2016.10.22



TURN LAND

ある（アートプロジェクトの）事業で商店街会長と一緒だったとき、彼は初めはどうしていいかわからなかったそうです。「好きにしろって言われてもなあ」と。でも数年経ったとき、その商店街会長さんが自分の言葉として「多様性」や「許容」ということを話すようになった。これからの街のことを話し合うときに、メンバーに女性がいないことや、福祉施設の人がいないという偏りを指摘するようになった。

鈴木一郎太（「大と小とレフ」取締役）
第4回 TURNミーティング より
2018.1.28

TURNフェス

ともかく行きがかりで出会ったら、手話ができたらよかったなとか、何か言葉がしゃべれたらよかったのになんて思ったけれども…そんなことを思ったってしょうがない。今そこで自分の持っているものっていうか、自分がここでこの人たちとなんとか関わるしかない。その感覚は、普段自分にあまりない感覚だったなぁっていうのが、とっても印象的。

和島千佳子（TURNフェス4サポーター）　TURNサポーター勉強会 より　2018.5.23

“その人らしさ”　“多様性”って何？

TURNとは、障害の有無、世代、性、国籍、多様な人々の出会いによる相互作用を、2015年度に東京2020オリンピック・パる東京都のリーディングプロジェクトとし公認文化オリンピアード」として実施して自分とは違う別の“何か”に触れた時にかけとなり、次の何かが見えてくるかもしした人々の言葉の中から、TURNが目指住環境などの背景や習慣の違いを超えた表現として生み出すアートプロジェクト。ラリンピックの文化プログラムを先導すて始動し、2017年度からは「東京 2020います。
起こった小さな“気付き”や“思い”がきっれない。ここでは、TURNの活動に参加すその先を探ります。

TURN

TURNのある社会

社会には、「人と違う」ことからくる違和感や不都合が存在し、そのます。TURNでは、想像力で、一人ひとりの異し、社会へ発信するこ組みを更新していきた「豊かな暮らしって、どを超えて共有できるもそも、マイノリティってと人が出会い、交流グラムを通して、自分他者と共有し、思考を性のある社会の実現を多くは見過ごされていく力を源とするアートのなる特性に価値を見出とで、人々の意識の枠いと考えています。のようなもの？」「世代のは何だろう？」「そもなに？」を生み出す多彩なプロ自身の当たり前を問い、深めていくことで、多様推進していきます。

人の心は変化する。人の数だけ世界があるのではなく、人の心の数だけ世界がある。心が変わることで、世界の捉え方が変わり、そして世界も変わっていくのだろう。きょう、自分がとらえるこの世界は少し変わったような気がした。

五十嵐靖晃（アーティスト）
TURN in BRAZIL 帰国報告会 より
2016.10.22

TURN交流プログラム

完璧になろうとすると、多くを排除しなければならない。何かが排除される状況の裏側には、完璧や正解を目指さなければならないという圧力がある。個人的には不完全や未熟である状態を面白いと思う。そこにこそ可能性を感じている。

藤 浩志（アーティスト）
第2回 TURNミーティング より
2017.10.8

TURNミーティング

2019年度のプログラム

出会う
TURN交流プログラム（通年）
アーティストと、福祉施設やコミュニティに集う人々が出会い、相互に関係し合う交流プロセスを構築します。

ひらく
TURN LAND（通年）
福祉施設やコミュニティが、アーティストとともに地域にひらかれた活動を行い、TURNを日常的に実践する場をつくります。

集まる
TURNフェス　8月中旬予定
TURNに参加する多様なアーティストや交流先の活動が一堂に会するフェスティバル。作品展示やワークショップなどを通してTURNを体感します。

考える
TURNミーティング　5月12日（日）、11月17日（日）、2020年2月2日（日）
参加アーティストや交流先の福祉施設などの関係者が集い、スペシャルゲストとともに様々な視点からTURNを考察します。

詳細は ⟶ http://turn-project.com

監修｜日比野克彦（アーティスト、東京藝術大学美術学部長・美術学部先端芸術表現科教授）
主催｜東京都、アーツカウンシル東京（公益財団法人東京都歴史文化財団）、
特定非営利活動法人Art’s Embrace、国立大学法人東京藝術大学

アボット奥谷の TOKYO ART 探訪

ストーリー／文・アボット奥谷

東京のアートにまつわるあれこれをマンガでレポート。今回は、美術館や博物館などの入場券・割引券のセット「東京・ミュージアム ぐるっとパス」を使って“両国エリア”を巡ったアート散策の様子をお届けします。

- 東京都江戸東京博物館　〒130-0015 墨田区横網1-4-1　TEL：03-3626-9974　URL ▶ http://www.edo-tokyo-museum.or.jp
- 刀剣博物館　〒130-0015 墨田区横網1-12-9　TEL：03-6284-1000　URL ▶ http://www.touken.or.jp/museum/
- すみだ北斎美術館　〒130-0014 墨田区亀沢2-7-2　TEL：03-6658-8936　URL ▶ http://hokusai-museum.jp

「東京・ミュージアム ぐるっとパス2019」4月1日（月）発売！

「ぐるっとパス2019」は、東京を中心とする95の美術館、博物館、動物園などの入場券や割引券がセットになった、一冊2,200円のお得なチケットブックです。今年度は、神奈川から3施設、埼玉から1施設が新しく参加！ 利用方法や販売場所など詳細は、「ぐるっとパス」公式サイトでご確認ください。

対象施設：95の美術館、博物館、動物園、植物園、水族園、庭園
※各施設指定の展示を半券1枚につき1回ご利用いただけます。
※「入場できる展示」と「割引券として使える展示」があります。
販売価格：2,200円（大人料金のみ）
販売期間：2019年4月1日（月）～2020年1月31日（金）
有効期間：最初に利用した日から2ヶ月間（ただし最終有効期限は2020年3月31日）
販売場所：「ぐるっとパス2019」が使える95施設の窓口のほか、東京観光情報センター（都庁第一本庁舎1階）、TIC TOKYO（JR東京駅日本橋口）、東京シティアイ（KITTE）などでもお求めになれます。
TEL：03-5610-0051（ぐるっとパス事務局）

URL ▶ http://www.rekibun.or.jp/grutto/

アボット奥谷（アボット おくたに）

イラストレーター。ゆるくてかわいいキャラクターを得意とし、さまざまな媒体で幅広く活躍中。

公益財団法人 東京都歴史文化財団

Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture

パートナーシップのご案内

学生の皆様に都立文化施設をご活用いただき、文化に親しむ機会を提供することを目的とした、大学や専門学校を対象とする会員制度です。

【会員校の学生への主な特典】

① 常設展等への無料入場
- ・常設展(東京都江戸東京博物館、江戸東京たてもの園、東京都現代美術館)
- ・収蔵展(東京都写真美術館)
- ・庭園(東京都庭園美術館)

② 特別展・企画展の特別割引(期間限定)
③ コンサートや演劇等、対象公演へのご招待や特別割引
④ 会員校限定のコンサート等の公開リハーサル、解説付きのバックステージツアー等へのご招待　ほか

詳細は ▶ http://www.rekibun.or.jp/about/project/partnership/

東京都江戸東京博物館 常設展示室

東京芸術劇場ナイトタイム・パイプオルガンコンサート
©Hikaru.☆

ご支援等のお願い ―東京の文化の継承と発展、創造のために―

首都東京の芸術文化の振興と江戸東京の歴史的文化遺産の継承、発展に努めている当財団では、事業趣旨にご賛同いただける皆様や法人からのご支援を広くお願いしております。より魅力的な事業を継続的に展開していくためには、皆様からのご支援を欠くことが出来ません。ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

詳細は ▶ http://www.rekibun.or.jp/about/support/

支援制度には以下の２種類がございます。

【ご支援】 一口50,000円～(個人・法人を問いません。)
〈特典〉当財団が主催する展覧会などへご招待します。二口以上ご支援いただいた方には「内覧会」へもご招待します。
(共催展等、一部対象外の事業あり)

【ご寄附】 一口2,000円～(個人)、一口10,000円～(法人)
〈特典〉金額により、税制上の優遇措置が受けられます。

チケットプレゼント

「ART NEWS TOKYO」の読者のみなさまの中から展覧会の無料観覧券を抽選でそれぞれ、5組10名様にプレゼントします！
はがきに【必要事項】をご記入の上、4月22日(月)までに(必着)ご応募ください。

【必要事項】
①お名前　②ご住所　③ご希望の展覧会
- A 東京都江戸東京博物館
  特別展「江戸の街道をゆく～将軍と姫君の旅路～」
- B 東京都現代美術館
  企画展「百年の編み手たち―流動する日本の近現代美術―」

④本誌へのご意見・ご感想

【応募先】 〒130-0015　東京都墨田区横網1-4-1
東京都歴史文化財団「ART NEWS TOKYO」担当 宛て

A 東京都江戸東京博物館
特別展「江戸の街道をゆく～将軍と姫君の旅路～」

B 東京都現代美術館
企画展「百年の編み手たち―流動する日本の近現代美術―」

※記載された個人情報は本企画(チケットプレゼント)以外では使用しません。
抽選結果はチケット等の発送をもってかえさせていただきます。

DESIGN FESTA GALLERY

OPEN every day 11:00－20:00
※年末年始・デザインフェスタ開催時を除く

入場無料

新しい発見と刺激に溢れた
原宿のアートヴィレッジ

デザインフェスタギャラリー原宿は、大小合わせて71の展示スペースで、日々様々な展示が行われる都内随一のアートスポットです。

展示スケジュールは
コチラをチェック！
https://designfestagallery.com

展示鑑賞の休憩に、
カフェでホッと一息。
DF カフェ＆バー 11:00-23:00

締めくくりには、
アートに囲まれたお好み焼き店でお食事も。
さくら亭 11:00-23:00

ギャラリー主催の公募企画展

2019 4.14 sun -5.11 sat

RECORD ART DAY

音楽を聴くことを「体験」できるのが、レコードのいいところ。オリジナルレコードジャケットアートを楽しもう！

2019 4.14 sun -4.20 sat

とりてん 3

愛でてよし、食べてよしの奥深い「とり」の世界。「とり」をテーマにしたオリジナル作品が一挙に集結！

2019 5.26 sun -6.1 sat

#filmisnotdead

昨年大好評だった写真展第 2 弾が開催決定！フィルム写真が主役の、フィルム写真だけの企画展。

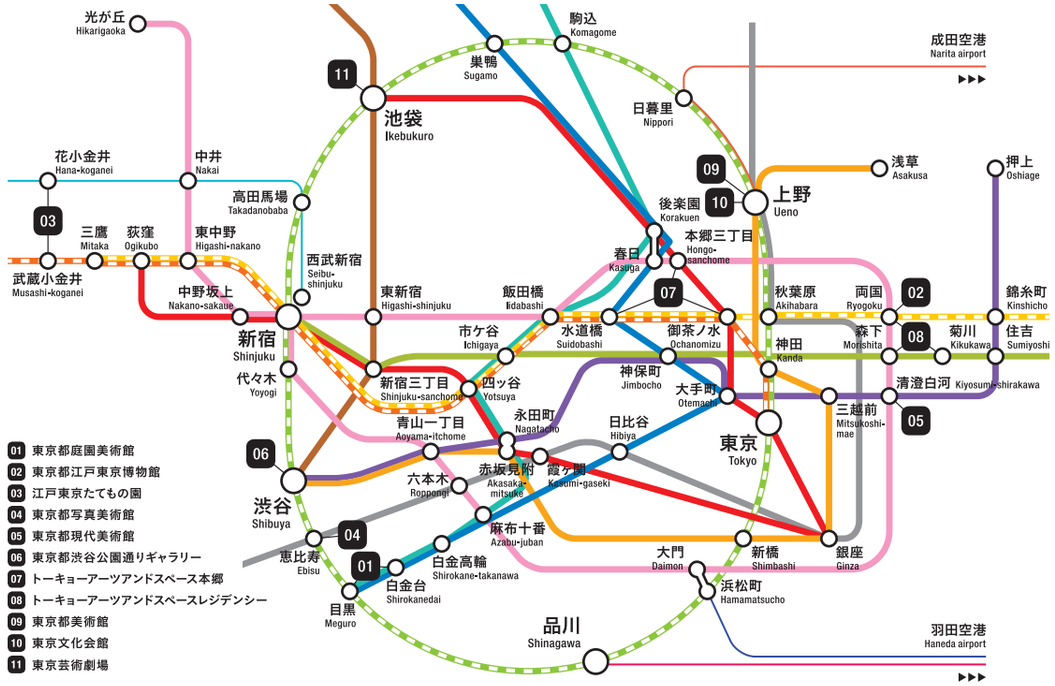
Maps & Information

各種優待のご案内

	身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・被爆者健康手帳をお持ちの方	65歳以上の方（要証明）	小学生以下、都内在住・在学の中学生の方	「家族ふれあいの日」（毎月第3土曜日と翌日曜日）※都民で、18歳未満のお子さまをお連れの家族の方（要証明）
東京都庭園美術館	手帳所持者及びその付添の方1名無料	庭園 半額 第3水曜日は無料	庭園 無料	庭園 半額
東京都江戸東京博物館	手帳所持者及びその付添の方2名無料	常設展 半額 第3水曜日は無料	常設展 無料	常設展 半額 （2名まで）
江戸東京たてもの園	手帳所持者及びその付添の方2名無料	入園料 半額 第3水曜日は無料	入園料 無料	入園料 半額
東京都写真美術館（展覧会のみ）	手帳所持者及びその付添の方2名無料	第3水曜日は無料	観覧料 無料	観覧料 半額
東京都現代美術館	手帳所持者及びその付添の方2名無料	第3水曜日は無料	企画展：小学生以下無料 MOTコレクション：中学生以下無料	観覧料 半額 （2名まで）

●東京都美術館の各種優待については、展覧会により異なりますので、詳細はウェブサイトにてご確認下さい。
●展覧会等によっては、割引にならない場合がございます。
Admission fee may be subject to discount. Please check the website of each facility.

主な路線図 Route map



01 東京都庭園美術館
Tokyo Metropolitan Teien Art Museum

所在地：〒108-0071 港区白金台5-21-9 交通：JR目黒駅東口・東急目黒線目黒駅正面口より徒歩7分、都営三田線・東京メトロ南北線白金台駅1番出口より徒歩6分 開館時間：10:00-18:00 休館日：第2・第4水曜日（祝休日の場合は翌平日）、年末年始
Address: 5-21-9 Shirokanedai, Minato-ku, Tokyo 108-0071 Opening hours: 10:00-18:00 Closed: 2nd and 4th Wednesday (When Wednesday falls on national holiday closed on the following weekday) and New Year holidays
Tel: 03-5777-8600（ハローダイヤル）
URL: http://www.teien-art-museum.ne.jp

02 東京都江戸東京博物館
Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum

所在地：〒130-0015 墨田区横網1-4-1 交通：JR両国駅西口より徒歩3分、都営大江戸線両国駅A4 出口より徒歩1分 開館時間：9:30-17:30（土曜日-19:30）入館は閉館の30分前まで 休館日：月曜日（祝休日の場合は翌平日）、年末年始 観覧料：常設展は一般600円、大学生・専門学校生480円、65歳以上・都外中学生・高校生300円、小学生以下・都内在住・在学中学生は無料
Address: 1-4-1 Yokoami, Sumida-ku, Tokyo 130-0015
Opening hours: 9:30-17:30 (-19:30 Saturday) Closed: Mondays (When Monday falls on national holiday closed on the following weekday) and New Year holidays Admission Fee: Adults ¥600/Students (College/University) ¥480/Seniors (65 and over), Junior high school (outside of Tokyo) and high school students ¥300
Tel: 03-3626-9974 URL: http://www.edo-tokyo-museum.or.jp

03 江戸東京たてもの園
Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum

所在地：〒184-0005 小金井市桜町3-7-1 交通：JR 武蔵小金井駅北口バス2番3番乗り場より「小金井公園西口」下車徒歩5分、西武新宿線花小金井駅南口よりバス「南花小金井」（小金井街道沿い）バス停より「武蔵小金井駅」行、「小金井公園西口」下車徒歩5分 開園時間：4-9月 9:30-17:30、10-3月 9:30-16:30 休園日：月曜日（祝休日の場合は翌平日）、年末年始 入園料：一般400円、大学生320円、65歳以上・都外中学生・高校生200円、小学生以下・都内在住・在学中学生は無料
Address: 3-7-1 Sakura-cho, Koganei-shi, Tokyo 184-0005
Opening hours: Apr.-Sep. 9:30-17:30, Oct.-Mar. 9:30-16:30
Closed: Mondays (When Monday falls on national holiday closed on the following weekday) and New Year holidays
Admission Fee: Adults ¥400/Students (College/University) ¥320/Seniors (65 and over), Junior high school (outside of Tokyo) and high school students ¥200
Tel: 042-388-3300 URL: http://www.tatemonoen.jp

04 東京都写真美術館
Tokyo Photographic Art Museum

所在地：〒153-0062 目黒区三田1-13-3（恵比寿ガーデンプレイス内） 交通：JR 恵比寿駅東口より徒歩7分、東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩10分 開館時間：10:00-18:00（木・金曜日-20:00）
休館日：月曜日（祝休日の場合は翌平日）、年末年始および臨時休館日
Address: Yebisu Garden Place, 1-13-3 Mita, Meguro-ku, Tokyo 153-0062 Opening hours: 10:00-18:00 (-20:00 Thursdays and Fridays) Closed: Mondays (When Monday falls on national holiday closed on the following weekday), New Year holidays and other temporary closures due to special circumstances. Tel: 03-3280-0099
URL: http://topmuseum.jp

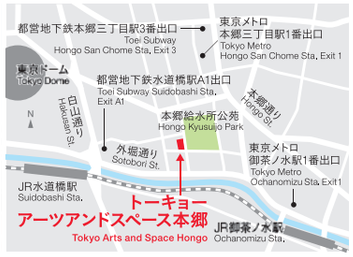
05 東京都現代美術館
Museum of Contemporary Art Tokyo

所在地：〒135-0022 江東区三好4-1-1（木場公園内）
交通：東京メトロ半蔵門線清澄白河駅B2出口より徒歩9分、都営大江戸線清澄白河駅A3出口より徒歩13分
開館時間：10:00〜18:00
休館日：月曜日（祝休日の場合は翌平日）、年末年始
Address: 4-1-1 Miyoshi, Koto-ku, Tokyo 135-0022
Opening hours: 10:00 – 18:00
Closed: Mondays (When Monday falls on national holiday closed on the following weekday), New Year holidays
Tel: 03-5245-4111
URL: http://www.mot-art-museum.jp

06 東京都渋谷公園通りギャラリー
Tokyo Shibuya Koen-dori Gallery

所在地：〒150-0041 渋谷区神南1-19-8 渋谷区立勤労福祉会館1F
交通：JR・東急東横線・田園都市線・京王井の頭線・東京メトロ銀座線・半蔵門線・副都心線渋谷駅ハチ公口より徒歩8分
Address: Shibuya Workers' Welfare Hall 1F, 1-19-8 Jinnan, Shibuya-ku, Tokyo 150-0041
Tel: 03-5245-4111（東京都現代美術館内）
URL: http://inclusion-art.jp
改修工事のため休館中
Temporarily closed for renovations.

07 トーキョーアーツアンドスペース本郷
Tokyo Arts and Space Hongo



所在地：〒113-0033 文京区本郷2-4-16 交通：JR 御茶ノ水駅御茶ノ水橋口・水道橋駅東口、都営三田線水道橋駅A1出口、東京メトロ丸ノ内線本郷三丁目駅1番出口、御茶ノ水駅1番出口、都営大江戸線本郷三丁目駅3番出口より各徒歩7分 開館時間：11:00-19:00 休館日：月曜日（祝休日の場合は翌平日）、年末年始
Address: 2-4-16 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo 113-0033
Opening hours: 11:00-19:00
Closed: Mondays (When Monday falls on national holiday closed on the following weekday) and New Year holidays
Tel: 03-5689-5331
URL: http://www.tokyoartsandspace.jp

08 トーキョーアーツアンドスペースレジデンシー
Tokyo Arts and Space Residency

所在地：〒130-0023 墨田区立川2-14-7-1F 交通：都営新宿線菊川駅A1出口より徒歩9分、都営新宿線・大江戸線森下駅A5出口より徒歩11分、JR・都営大江戸線両国駅より徒歩15分
Address: 1F, 2-14-7 Tatekawa, Sumida-ku,Tokyo 130-0023
Tel: 03-5625-4433
URL: http://www.tokyoartsandspace.jp
オープン・スタジオ等イベント開催時のみ一般公開
Open to the public only when events are held.

09 東京都美術館
Tokyo Metropolitan Art Museum

所在地：〒110-0007 台東区上野公園8-36 交通：JR上野駅公園口より徒歩7分、東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅7番出口より徒歩10分、京成電鉄京成上野駅より徒歩10分 開館時間：9:30-17:30（特別展開催中の金曜日は20:00まで） 休館日：第1・第3月曜日、2019年7月11日（木）〜16日（火）、特別展・企画展は月曜日（祝休日の場合は翌平日）、年末年始
Address: 8-36 Ueno-Koen, Taito-ku, Tokyo 110-0007
Opening hours: 9:30-17:30 (Special Exhibition:-20:00 Friday)
Closed: Rental Gallery: 1st and 3rd Mondays, Jul.11 Thu. – 16 Tue., 2019 / Special Exhibition Gallery: Mondays (When Monday falls on national holiday closed on the following weekday) and New Year holidays
Tel: 03-3823-6921 URL: http://www.tobikan.jp

10 東京文化会館
Tokyo Metropolitan Festival Hall, Tokyo Bunka Kaikan

所在地：〒110-8716 台東区上野公園5-45 交通：JR上野駅公園口より徒歩1分、東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅7番出口より徒歩5分、京成電鉄上野駅より徒歩7分 開館時間：10:00-22:00（閉館時間は公演スケジュールによる） 休館日：年末年始・保守点検日（不定期）ほか
Address: 5-45 Ueno-Koen, Taito-ku, Tokyo 110-8716
Opening hours: 10:00-22:00 (excluding closed days)
Closed: New Year holidays, maintenance days (irregular), etc.
Tel: 03-3828-2111 URL: http://www.t-bunka.jp

11 東京芸術劇場
Tokyo Metropolitan Theatre

所在地：〒171-0021 豊島区西池袋1-8-1 交通：JR・東京メトロ・東武東上線・西武池袋線池袋駅西口より徒歩2分、地下通路2b出口直結 開館時間：9:00-22:00 休館日：年末年始、保守点検日（不定期）ほか
Address: 1-8-1 Nishi-Ikebukuro, Toshima-ku, Tokyo 171-0021
Opening hours: 9:00-22:00 (excluding closed days)
Closed: New Year holidays, maintenance days, etc.
Tel: 03-5391-2111 URL: http://www.geigeki.jp

※各施設では、保守点検、工事休館などにより、開館日時が変更になることがあります。詳細はウェブサイトをご参照ください。
*Opening hours may be subject to change at short notice due to facility maintenance or other unexpected circumstances. Please refer to the website of each facility for details.
※美術館・博物館の入館は閉館の30分前までです。
*Last admission to the museum is 30 minutes before closing.

ART NEWS TOKYO
2019.04 – 07

©Tokyo Metropolitan Foundation for History and Culture. All rights reserved.
本誌掲載の記事、写真の無断複写、複製を禁じます。
※掲載した情報は2019年3月現在の情報です。
やむを得ない事情などで開催内容が変更になることがあります。

発行日：2019年4月1日（4、8、12月発行）
発行：公益財団法人東京都歴史文化財団
〒130-0015 東京都墨田区横網1-4-1
Tel. 03-5610-3503
企画：公益財団法人東京都歴史文化財団
事務局 総務課 企画広報係
編集：株式会社スプー
アートディレクション・デザイン：株式会社ルームコンポジット
翻訳：株式会社マイス
印刷・製本：佐川印刷株式会社

ミュージアム & シアターの最新情報［アート・ニュース・トーキョー］

ART NEWS TOKYO

2019
04-07

Museum and Theatre Information

東京都江戸東京博物館 絵草紙屋（模型）

アートとカルチャーがある都市（まち）、東京。

Tokyo, the City of Arts and Culture.

東京都庭園美術館
Tokyo Metropolitan Teien Art Museum

東京都江戸東京博物館
Tokyo Metropolitan Edo-Tokyo Museum

江戸東京たてもの園
Edo-Tokyo Open Air Architectural Museum

東京都写真美術館
Tokyo Photographic Art Museum

東京都現代美術館
Museum of Contemporary Art Tokyo

東京都渋谷公園通りギャラリー
Tokyo Shibuya Koen-dori Gallery

トーキョーアーツアンドスペース
Tokyo Arts and Space

東京都美術館
Tokyo Metropolitan Art Museum

文化でつながる。未来とつながる。
THE FUTURE IS ART
Tokyo Tokyo FESTIVAL

東京文化会館
Tokyo Metropolitan Festival Hall, Tokyo Bunka Kaikan

東京芸術劇場
Tokyo Metropolitan Theatre

アーツカウンシル東京
Arts Council Tokyo

東京都歴史文化財団へのご支援のお願い

公益財団法人東京都歴史文化財団では、当財団の芸術文化活動展開の趣旨にご賛同いただける皆様や、日頃から社会貢献にご理解のある企業の皆様に対しまして、当財団が主催する事業や展覧会に対するご支援を広くお願いしております。詳細は26ページをご覧ください。

公益財団法人 東京都歴史文化財団

発行：公益財団法人東京都歴史文化財団